



新入スタッフ
のご紹介
大阪本社 企画営業部

遊文舎では今後さらなる飛躍と成長を遂げるため、組織活性化を図るべく2019年8月から各部署で新戦力となるスタッフの採用活動を行って参りました。様々な企業が求人難にあえぐご時世の中、延べ200名以上の方からのご応募をいただき、弊社の目指すべきところと価値観の合うスタッフ合計7名を迎えることができました。

今回はその第一弾としまして、大阪本社企画営業部2名の紹介をさせて頂きたいと思います。ベテランの多い大阪本社営業部にフレッシュな若いパワーが加わり、今まで以上に皆さまへのサービスの充実に繋げていけると確信しております。今後とも何卒よろしくお願いたします！



【企画営業部】

清水 円

Shimizu Madoka

年齢 | 23歳

出身 | 神奈川県

出身校 | 立命館大学経営学部

趣味 | Netflix(テラスハウス、ARROW、ディブレイク)、読書(最近読んだ本: 鬼人幻燈抄/中西モトオ 草祭/恒川光太郎)



はじめまして！ 9月に入社した清水 円と申します。

大学卒業後すぐに出産し、1年間の育児を経て就職活動を始めたため、社会人経験はなく、ほぼ新卒状態で採用していただきました。

学生時代、放送サークルで音響をしており約100人の部員と、キャンパス内で放送する番組の制作や編集、学内、地域で行われるイベントのPA・ミキシングなどの活動に励んでいました。サークルでの活動を通してみんなで一つのものに向かうことの楽しさに気づき、誰かのためにがんばる仕事に就きたいと考えていたなかで出会ったのが、遊文舎でした。

遊文舎はただ商品売るのではなく、お客様とともに一つひとつ商品を創り上げており、会社全

体が同じベクトルに向かって動いていると感じました。また選考を通して遊文舎の目標と私が大切にしている価値観が同じだと思い、入社を決めました。

現在まだまだ研修中の身ですが、先輩との同行のもとお客様とお話しさせていただく機会も体験し、モノづくりの奥深さ、ミスを誘発する落とし穴の多さに身の引き締まる思いです。

右も左も分からない私を指導してくださる遊文舎の皆さま、娘の送り迎えをしてくれている家族、いつも保育園を頑張ってくれている娘、そしてやんちゃになってきた娘を見て下さる保育園の先生方。感謝の気持ちを忘れず、1日でも早く多くのお客様の力になれるよう頑張っております。今後とも、どうぞよろしくお願いたします。

初めまして！ 9月に入社し3か月になりました、石谷 晃律と申します。

お客様の希望をくみ取り、望まれている印刷物を形がないところから、一から作り上げていくところに魅力とやりがいを感じ、入社を決めました。

前職は、印刷関係とは全く無関係の業界、職種に携わっており、印刷業界の用語や用紙、印刷の種類など、初めて学ぶことばかりで、右も左も分からないことがたくさんありますが、日々の業務を新鮮な気持ちで学ばせていただいています。

先日は、一人のお客様との打ち合わせをおこない、校正を繰り返し、印刷の手配を済ませて、完成した印刷物を目にしたときは感慨を覚えました。さらに決められた納期までに納品させていただき、初めてお客様にお渡しさせていただいた際には、

やりがいを感じました。

お客様から、ご要望いただくものは多岐にわたり、それぞれの印刷物によって、用紙から印刷方法、文字やデザインの校正など、仕事の幅は広いですが、その分、完成してお渡しできた際のやりがいや喜びも大きいのだろうと考えています。

これまでも、「人に喜んでいただける」「人の役に立つ」という事を目標にし、念頭に置いて仕事に取り組んできましたので、今後もその気持ちや信念を忘れず、一日一日を大事にして励んでいきたいと思っています。仕事自体を楽しみながら知識を豊富に身に付けて、みなさまに頼っていただけ喜んでいただける存在になれるよう、精一杯頑張っております。今後とも、どうぞよろしくお願いたします。



【企画営業部】

石谷 晃律

Ishitani Akinori

年齢 | 27歳

出身 | 大阪府

出身校 | 大阪国際大学ビジネス学部

趣味 | 音楽鑑賞、筋トレ





▲ Iridesse Production Press

誰でも
わかる!?

オフセット印刷と オンデマンド印刷の違い!

印刷をお考えの際、大ロットは『オフセット印刷』小ロットは『オンデマンド印刷』と何気なく使われている方も多いのではないのでしょうか？

はじめてご依頼いただく方などにとっては「何のことやら？」となってしまうのは当然だと思います。

今回はそんな疑問の解決に少しでもお力になればと思い、現場で働く我々が印刷機についてご紹介させていただきます！

●そもそも「オフセット印刷」とは？

刷版についてインキを、ブランケットと呼ばれる樹脂やゴム製の転写ローラーにいったん移し (Off)、そのブランケットを介して印刷用紙に転写 (Set) されるといった、版と用紙が直接触れない印刷方式から、「オフセット」という名がつけられました。

●オフセット印刷の構造はこうだ！

オフセット印刷は平版印刷であるため、版に凹凸はありません。版 (アルミ板) の上で、水 (湿し水) と油 (インキ) との反撥し合う性質を利用して、インキがのる部分とのらない部分とを分けています。

印刷機の仕組みとしては、版胴と呼ばれる部分に版が巻き付けてあり、そこへインキと湿し水が供給されていきます。版とブランケットが接触し、ブランケットに転写されたインキが、用紙へと印刷されていきます。版が直接紙に触れないことから胴の磨耗が少なく、非常に鮮明な印刷が可能です。さらに、大量部数の印刷も、短時間でスピーディに仕上がります。

●2大オフセット印刷機！

『枚葉印刷機』と『輪転機』

オフセット印刷機には、紙1枚ずつに印刷をしていく枚葉機、巻取り紙に連続的に印刷する輪転機などがあります。

枚葉機は1枚ずつの紙に印刷するため、紙の選択に自由度が大きく、小ロットの印刷にも対応しています。両面を一度に刷れる用紙反転装置が組み込まれたものや、色数・用紙サイズ・乾燥方式やインキの種類などによってさまざまな枚葉機を採用しており、商品それぞれに最適な印刷機にて印刷を行っております。

輪転機は機上でインキ乾燥、用紙の折りと断裁ができるため、生産性が高く大ロットの印刷 (大部数のチラシや雑誌・書籍の印刷など) に向いています。

●「オンデマンド印刷」ってなに？

オンデマンド (On demand) 印刷とは、「要求・必要に応じて必要な部数を提供する印刷」という意味です。原稿データをダイレクトに読み取って複写・製本までを一貫処理する印刷方式で、製版作業の必要がないため、小部数の印刷や短納期での対応が必要な印刷に適しています。一部高精細な再現性に制約がありますが、一般的な商業印刷レベルの仕上がりを実現します。

●短納期対応

製版行程が不要なオンデマンド印刷は、納品のスピードが違います。情報の更新が頻繁なDMやチラシ、会社案内、パンフレットなど情報の修正・増刷の際もスピーディに対応可能です。

●小部数対応

小部数から対応可能なオンデマンド印刷なら必要な分だけをその都度ご注文いただけます。不要な在庫の保管や廃棄を削減することができるため、節約・節電・エコにつながります。また小部数で多様なデザインの印刷物の作成にも最適です。

●方式選定について

ここまでお読みいただき「結局どっちにすればいいの?」と疑問を持たれる方も多いと思います。用紙や再現性、納期やコストに応じて専門の印刷会社にご相談ください。

弊社では最新のオンデマンド印刷機によりオフセットに負けず劣らずの高いクオリティーを出せるので詳しくは担当営業にお聞きください！我々も現場でより良い品質のご提供に今後とも努めさせていただきます！

遊文Walker vol.2

ディズニーシー新アトラクション「ソアリン」

先日東京ディズニーシーに行ってきました。お目当ては7月にオープンした新アトラクション「ソアリン」です。ハロウィンとクリスマスの狭間を狙って行ったものの、日付指定のチケットは数日前の時点で完売。案の定、オープン前の入口には、既に大勢の人が並んでいました。

8時20分頃にやっと入場でき、「ソアリン」のファストパス取得のためにアプリを起動します (ファストパスは、今年の夏からアプリで取得



するシステムに変更になりました)。そして取得を試みるも、「発行終了」の文字 (チーン)。しかし落ち込んでいる暇はありません。気持ちを切り替え、スタンバイ最後尾を目指します。10分ほど歩き、やっと最後尾を見つけ列に並ぶと「只

今310分待ちでーす！」というキャストさんの声。そしてたわいもない会話をしつつ、並ぶこと本当に310分!! ついに「ソアリン」初体験です。

アトラクションの内容はネタバレになってしまうので、細かくは書きませんが、映像を使用し、「空を飛ぶ」という非現実を味わうことができるアトラクションです。映像の美しさやストーリー、世界観もとても感動的で、アトラクション終了時には自然と拍手が沸き起こりました。310分待ったかいがありました! (涙)

その後も、屋外でビールを飲んだり、美味しいワインとコース料理に舌鼓を打ったり (飲んでばかり?!) と、ディズニーの魔法にかけられ、朝から晩まで楽しい1日を過ごすことができました。また、近いうち2人で行こうと計画中です。

(東京支店 営業推進グループ 太田・吉原)



● 編集後記 ●

2週にわたって印刷機についてお話しさせていただきました! 私たちは既存の設備を生かしつつ、新しいことにもどんどんチャレンジしていきたいと思っています。私自身も最新の技術を目にできることは楽しいなと思います。今後も、お客様の要望にあった斬新でユニークなご提案をさせていただきます!

(まるめがね)